YAMAHA GEAR
ルーフキット組立・点検説明書

まえがき …… 1
組立方法 …… 2
各部の調整方法 ……13
各部の点検方法 ……14
電装配線図 ……18
パーツカタログ ……19
仕様諸元 ……21
点検整備項目 ……21

ご使用の前に

ご使用の前に『組立・点検説明書』を必ずお読みください。お読みの後は、いつでも参照できるように保管しておいてください。

XKU-2819K-03

まえがき

この組立・点検説明書はYAMAHA GEARルーフキットの組立、調整、点検整備要領について説明してあります。
なお、仕様変更などにより、図や内容がお求めいただいた製品と一致しない場合があります。ご了承ください。

- 本製品はパーキングスタンド装着車のYAMAHA GEAR**「BX50S」**にのみ装着してください。
  「BX50S」以外への装着はしないでください。
- ベース車両（GEAR）の整備要領については『YAMAHA GEAR サービスマニュアル』をご覧ください。
- 本製品にストップランプ付汎用ボックスを取付ける場合は、事前にベース車両（GEAR）からストップランプリード線を分岐させておいてください。

本書では正しい取扱いおよび組立・点検・調整に関する必要事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠警　告 ―取扱いを誤った場合、死亡、重傷、傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。

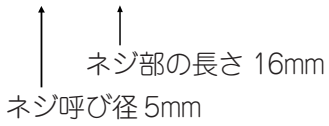
注　意 ―取扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

要　点 ―正しい操作の仕方や点検整備上のポイントを示してあります。

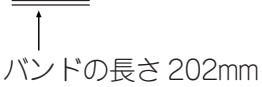
記載内容の説明

部品名称のサイズ表示は以下の意味を示しています。

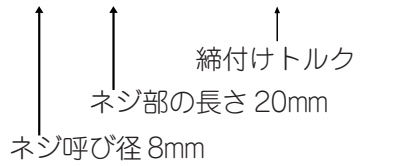
例１ ● スクリュ，タッピング（φ5 × 16）①



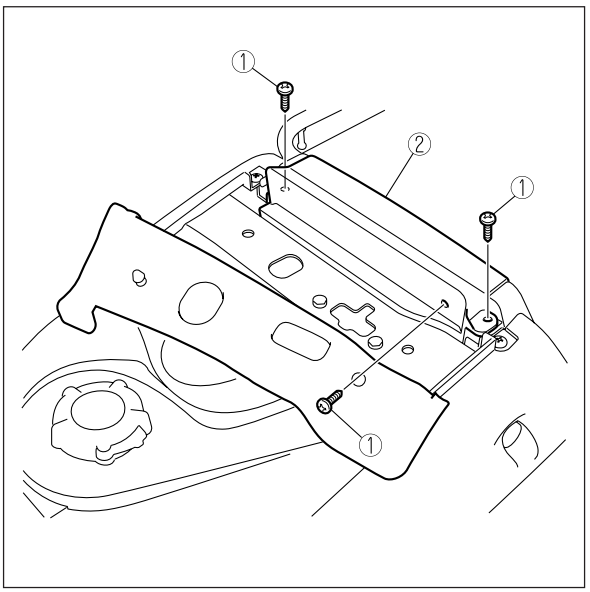
例２ ● バンド（ℓ202）



例３ ● ボルト，フランジ（M8 × 20）① 7Nm（0.7kg・m）



組立方法



バッテリリードの取外し

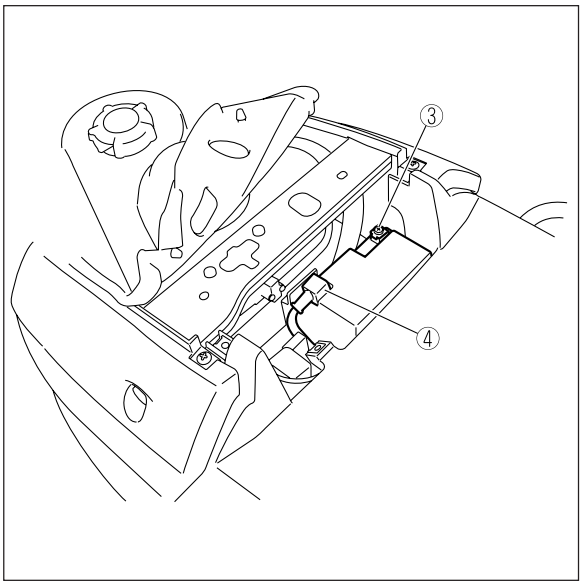
1.シートを開きます。
2.以下の部品を取外します。
- スクリュ，タッピング（φ5×16）①
- カバー②
- バッテリ⊖リード③
- バッテリ⊕リード④

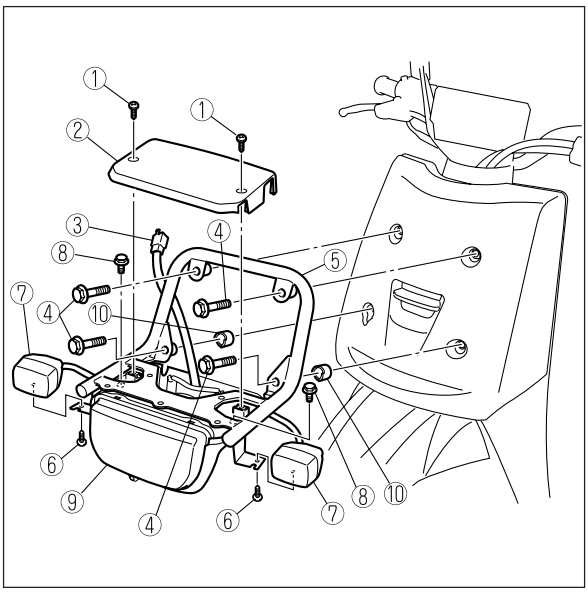
要　点

- 必ずバッテリ⊖リードから取外す。
- 取外した部品は、再度組付けるので整理しておく。

注　意

作業中、配線のショートを防ぐために、必ずバッテリリードを取外すこと。



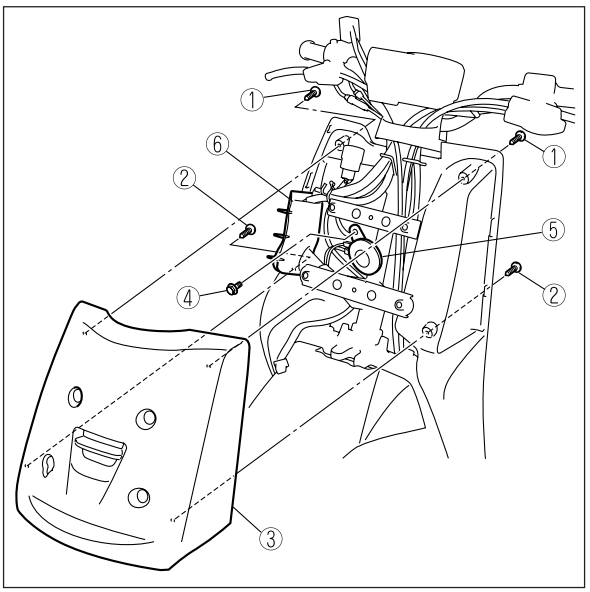


ヘッドライトステーの取外し

1.以下の部品を取外します。
- スクリュ，タッピング（φ5×16）①
- ヘッドライトカバー②
- ヘッドライトカプラ③
- ボルト，フランジ（M8×50）④
- ヘッドライトステー⑤
- スクリュ，パンヘッド（M5×12）⑥
- フラッシャー⑦
- ボルト（M6×16）⑧
- ヘッドライト⑨
- グロメット⑩

要　点

ボルト，フランジ（M8×50），ヘッドライトステーは本キットでは使用しない。



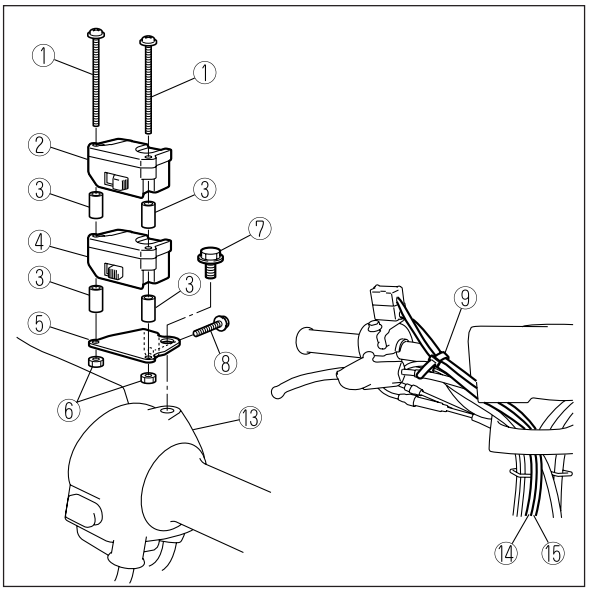
レッグシールドの取外し

1. 以下の部品を取外します。
- スクリュ，タッピングT-25（φ5×16）①
- スクリュ，タッピング（φ5×16）②
- レッグシールド③
- ボルト，フランジ（M6×12）④
- ホーン⑤

2. 以下の部品を開きます。
- コネクタカバー⑥

要　点

取外した部品は､再度組付けるので整理しておく。

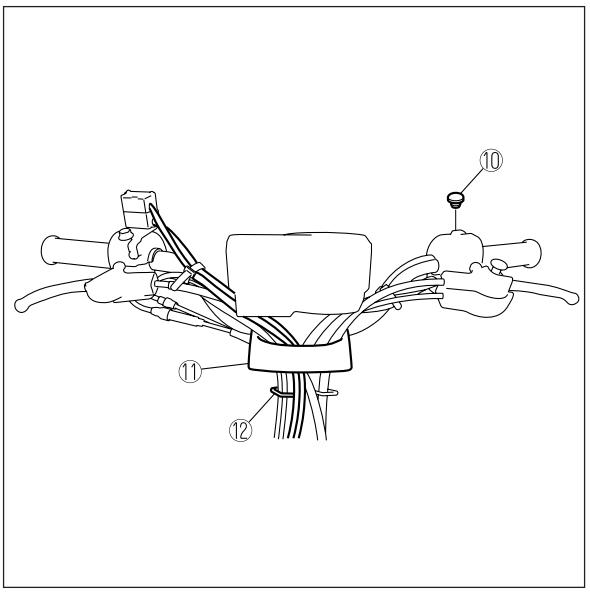


スイッチの組付け

1. 以下の部品を組付けます。
- スクリュ(M3×30）① 2Nm(0.2kg・m)
- スイッチ(ウォッシャー）②
- カラー③
- スイッチ(ワイパー）④
- プレート⑤
- ナット⑥
- ボルト(M8×14）⑦ 7Nm(0.7kg・m)
- スクリュ，パンヘッド(M5×12）⑧ 2Nm(0.2kg・m)
- バンド⑨
- プラグ，ブラインド⑩

注　意

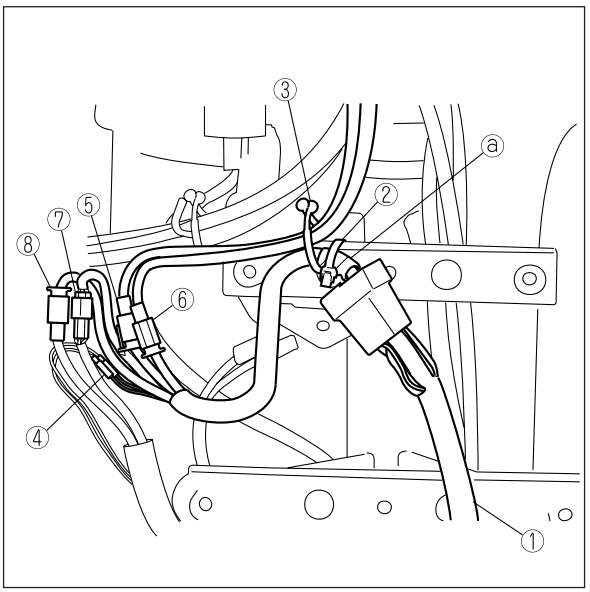
スイッチ（ワイパー）リード、スイッチ（ウォッシャー）リードはハンドルカバー⑪の内側を通し、ガイドワイヤ⑫内には通さないこと。
ガイドワイヤ内を通すとスイッチ故障の原因となる。



要　点

- ボルトは反時計回転方向に回して取付ける。（左ネジ）
- スクリュ，パンヘッドはハンドルスイッチ⑬を取付けているスクリュである。ハンドルスイッチから一度外してスイッチアセンブリを共締めする。
- 既存のバンドを外し、スイッチ（ワイパー）リード⑭、スイッチ（ウォッシャー）リード⑮を含んだ状態で再度クランプする。

組立方法



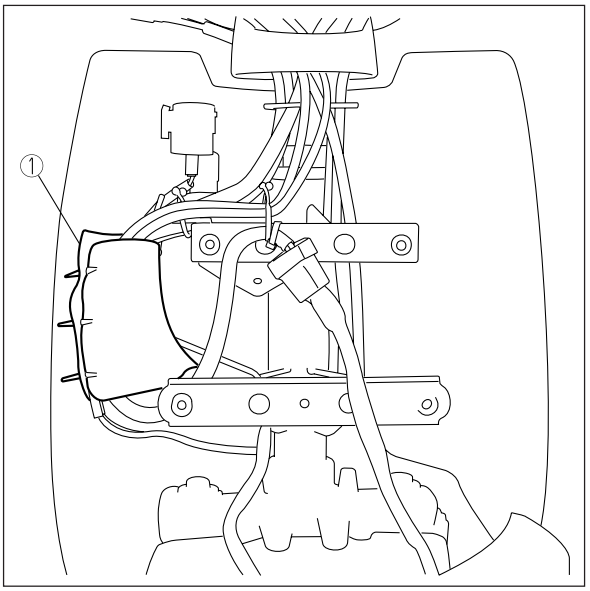
ワイヤ，リード１の組付け

1. 以下の部品を組付けます。

- ワイヤ，リード1①
- バンド（ℓ202）②
- クランプ③
- ホーンリード④
- 4極カプラ（ワイヤ，リード1とスイッチ（ワイパー）リード）⑤
- 2極カプラ（ワイヤ，リード1とスイッチ（ウォッシャー）リード）⑥
- 3極防水カプラ（車両メインハーネスとワイヤ，リード1）⑦
- 2極カプラ（車両メインハーネスとワイヤ，リード1）⑧

要　点

- カプラの接続は電装配線図を参照して確実に接続すること。
- ワイヤ，リード1の白テープ部ⓐをバンドでフレームにクランプする。
- バンドの先端はカットする。
- ワイヤ，リード1、スイッチ（ワイパー）リード、スイッチ（ウォッシャー）リードをクランプでフレームにクランプする。

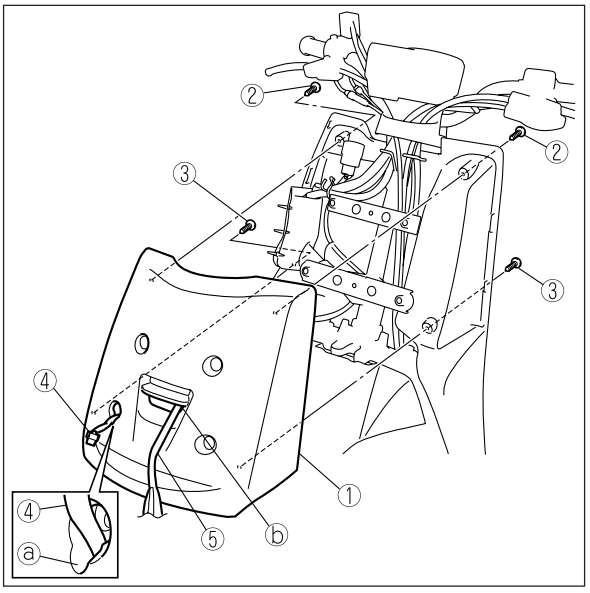


2. 以下の部品を組付けます。

- コネクタカバー①

要　点

接続したカプラをコネクタカバーの中に収める。



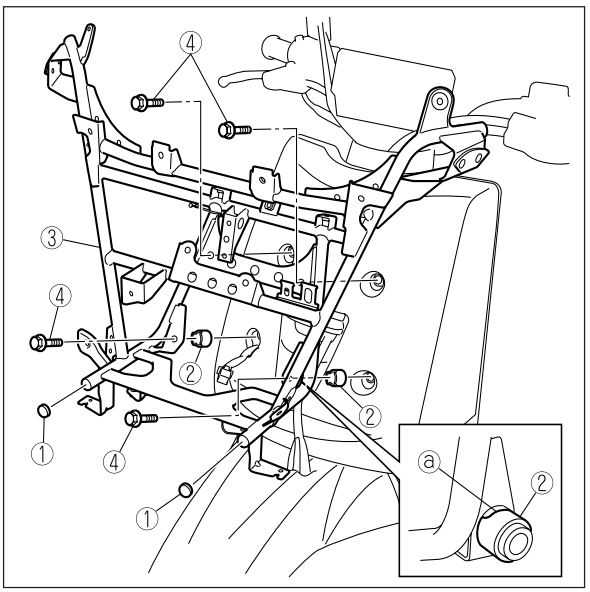
レッグシールドの組付け

1. 以下の部品を組付けます。

- レッグシールド①
- スクリュ，タッピングT-25（φ5×16）②
  2Nm（0.2kg・m）
- スクリュ，タッピング（φ5×16）③ 2Nm（0.2kg・m）

要　点

- ヘッドライトリード④はレッグシールド取付孔の切欠き部ⓐを通す。
- ワイヤ,リード1⑤はレッグシールドの下側のスリットⓑを通す。

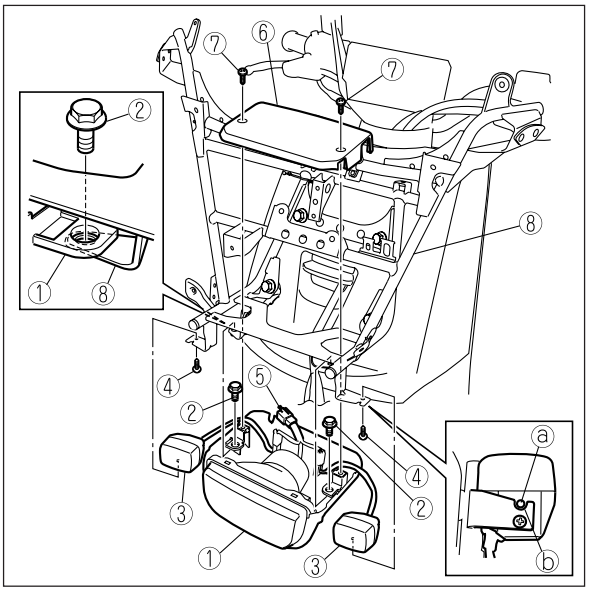


ステー，1の組付け

1. 以下の部品を組付けます。
- キャップ①
- グロメット②
- ステー，1③
- ボルト，フランジ（M8×45）④ 16Nm（1.6kg・m）

要　点

- グロメットは『**ヘッドライトステーの取外し**』の項目で取外したものを使用する。
- グロメットは切欠き部ⓐをステー，1の溶接ビードに合わせて組付ける。

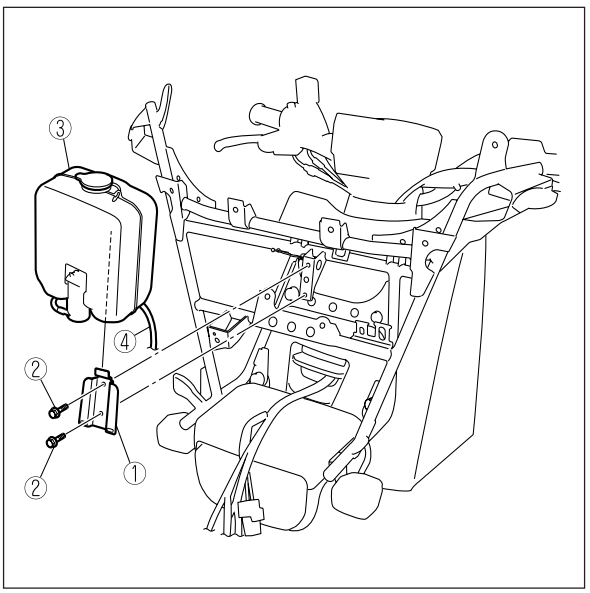


ヘッドライト、フラッシャーの組付け

1. 以下の部品を組付けます。
- ヘッドライト①
- ボルト(M6×12)② 7Nm(0.7kg・m)
- フラッシャー③
- スクリュ，パンヘッド(M5×12)④ 4Nm(0.4kg・m)
- ヘッドライトカプラ⑤
- ヘッドライトカバー⑥
- スクリュ，タッピング(φ5×16)⑦ 2Nm(0.2kg・m)

要　点

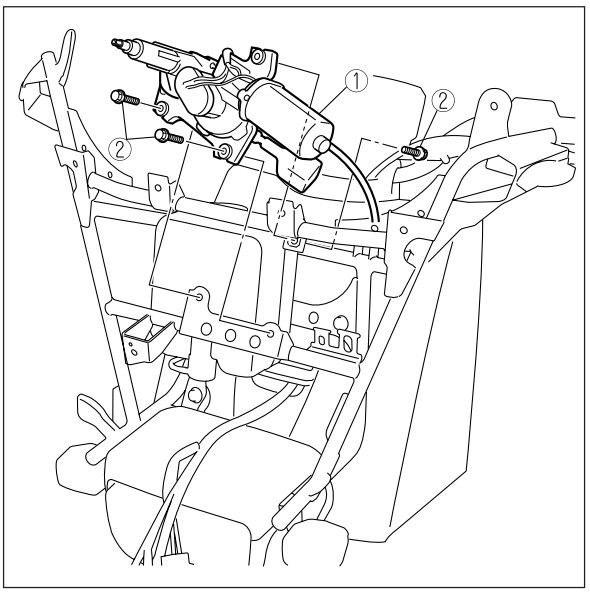
- 上記部品は『**ヘッドライトステーの取外し**』の項目で取外したものでステー，1⑧へ再度組付ける。
- 茶色カプラのフラッシャーを左側へ、緑色カプラのフラッシャーを右側へ組付ける。
- フラッシャーの突起ⓐとステー，1の切欠きⓑを合わせて組付ける。



タンクアセンブリの組付け

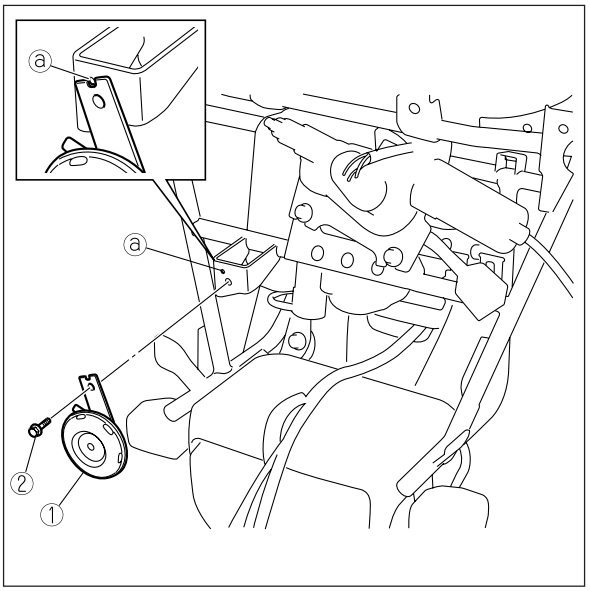
1. 以下の部品を組付けます。
- タンクブラケット①
- ボルト，フランジ（M6×10）② 7Nm（0.7kg・m）
- タンクアセンブリ③
- ウォッシャーホース④

組立方法



ワイパーモーターアセンブリの組付け

1. 以下の部品を組付けます。
- ワイパーモーターアセンブリ①
- ボルト，フランジ（M6×16）② 7Nm（0.7kg・m）

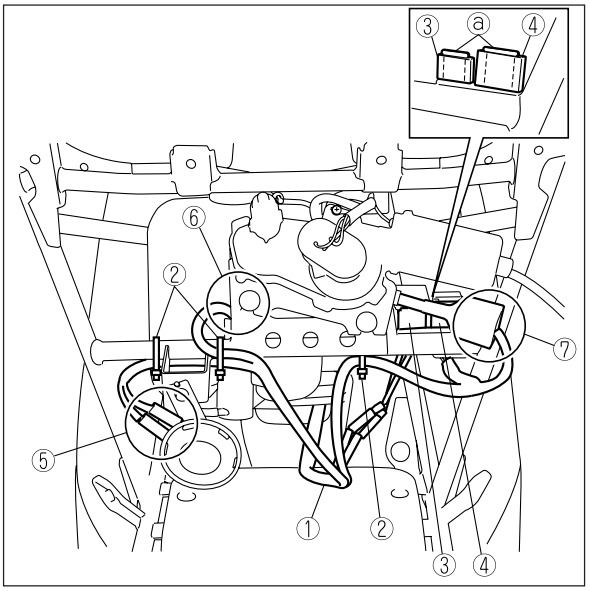


ホーンの組付け

1. 以下の部品を組付けます。
- ホーン①
- ボルト，フランジ（M6×12）② 7Nm（0.7kg・m）

要　点

- ホーンおよびボルト，フランジは『**レッグシールドの取外し**』の項目で取外したものを使用する。
- ステー，1の突起ⓐにホーンブラケットの切欠きを合わせて組付ける。



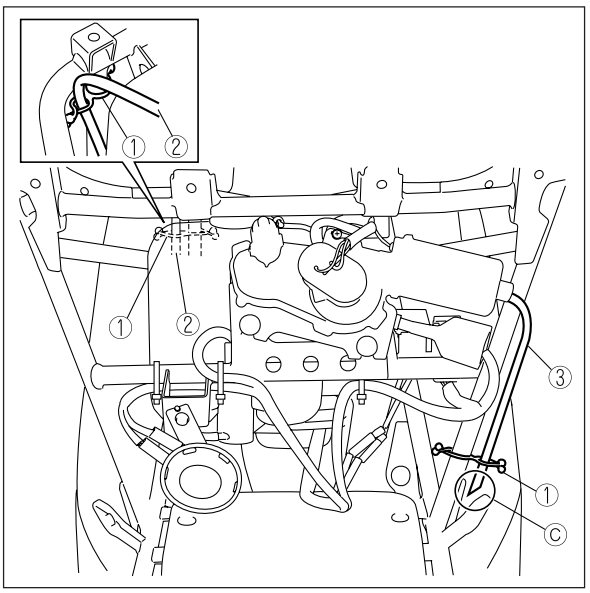
ワイヤ，リード 1 の組付け

1. 以下の部品を組付けます。
- ワイヤ，リード1①
- バンド（ℓ 202）②
- フューズホルダアセンブリ③
- リレーアセンブリ④

要　点

- フューズホルダアセンブリおよびリレーアセンブリはステー, 1の爪部ⓐに差し込む。
- バンドの先端はカットする。

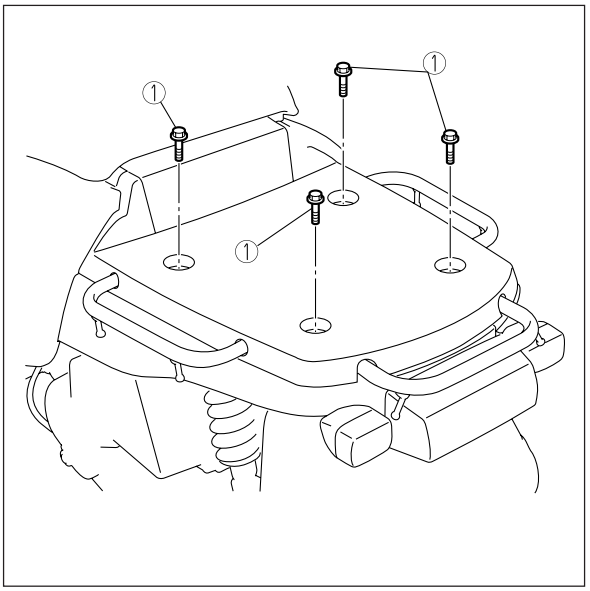
2. 以下の部品を接続します。
- ホーンリード⑤
- ウォッシャーポンプリード⑥
- ワイパーモーターリード⑦



3.以下の部品を組付けます。
- クランプ①
- ウォッシャーホース②
- ワイパーモーターブリーザーホース③

注　意

ワイパーモーターブリーザーホース先端ⓒは、必ず下向きにすること。水等が浸入すると破損の原因となる。

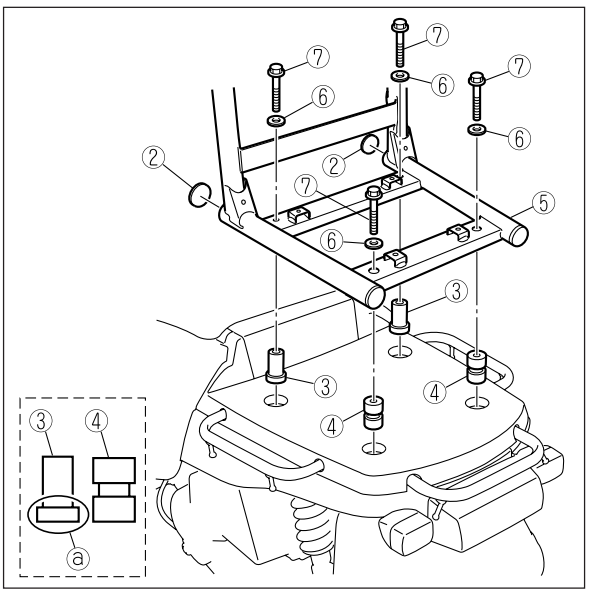


キャリアフレームアセンブリの組付け

1.以下の部品を取外します。
- ボルト，フランジ（M8×16）①

要　点

ボルト，フランジは本キットでは使用しない。

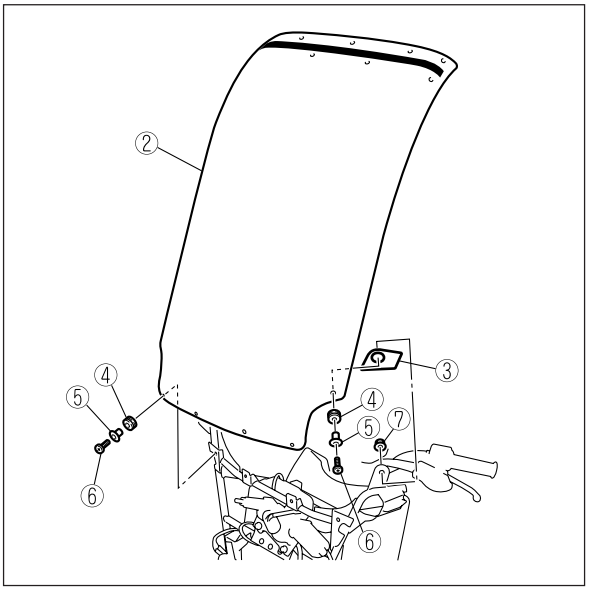


2.以下の部品を組付けます。
- プラグ②
- カラー③
- カラー，2④
- キャリアフレームアセンブリ⑤
- ワッシャー，プレート⑥
- ボルト，フランジ（M8×55）23Nm（2.3kg・m）⑦

要　点

- カラーはフランジ部ⓐを下側に向けて組付ける。
- プラグは瞬間接着剤等でキャリアフレームアセンブリへ接着する。

組立方法

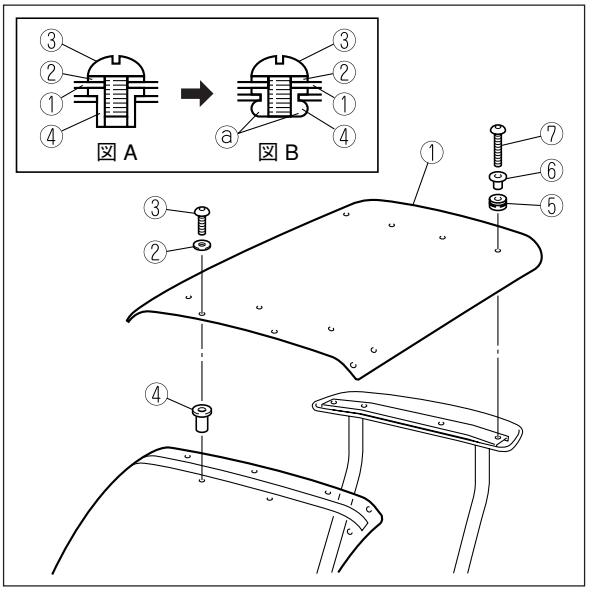


ウインドスクリーンの組付け

1. 以下の部品を組付けます。
- ウインドスクリーン②
- プレート，ラバー5③
- グロメット④
- カラー⑤
- ボルト，ボタンヘッド（M6×25）⑥ 7Nm（0.7kg・m）
- ナット，キャップ⑦ 7Nm（0.7kg・m）

注　意

ウインドスクリーンの組付けは､2人で作業し､ウインドスクリーンに傷が付かないように注意して組付けること。



パネル，1 の組付け

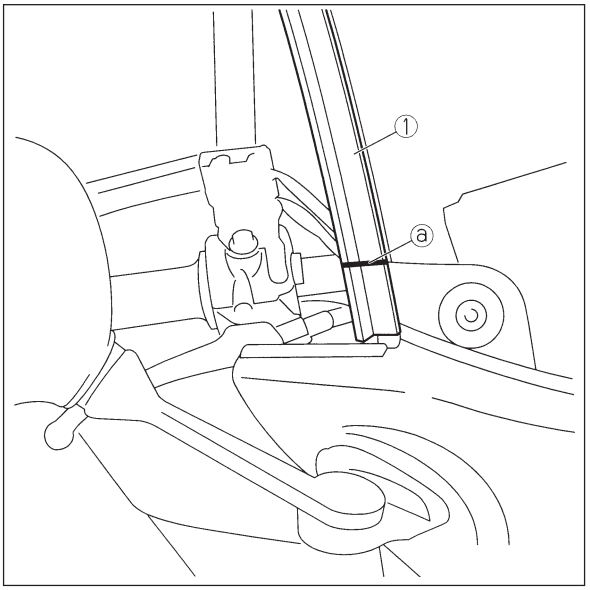
1. 以下の部品を組付けます。
- パネル，1①
- ワッシャー，プレート②
- スクリュ(M6×16)③ 1Nm(0.1kg･m)
- ナット④
- グロメット⑤
- カラー⑥
- ボルト，ボタンヘッド（M6×25）⑦ 7Nm（0.7kg・m）

注　意

パネル，1の組付けは、2人で作業し、パネル，1に傷が付かないように注意して組付けること。

要　点

ナットを図Aのように組付けた後、スクリュで締上げることで図Bのようにナット先端ⓐをつぶしパネル，1を固定する。



モール，2 の位置決め

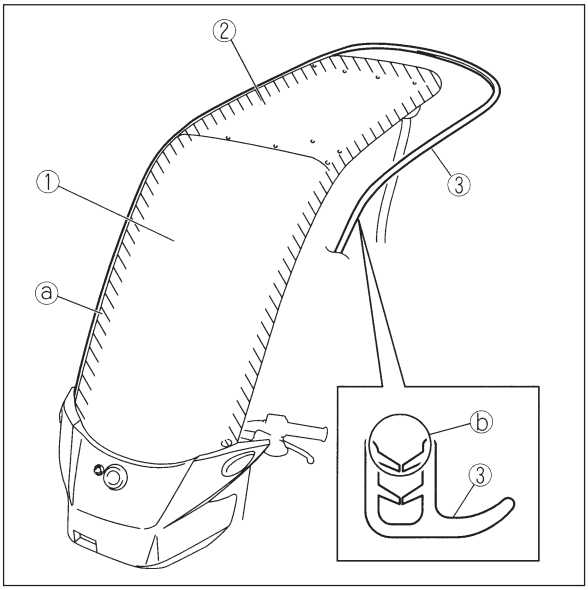
要　点

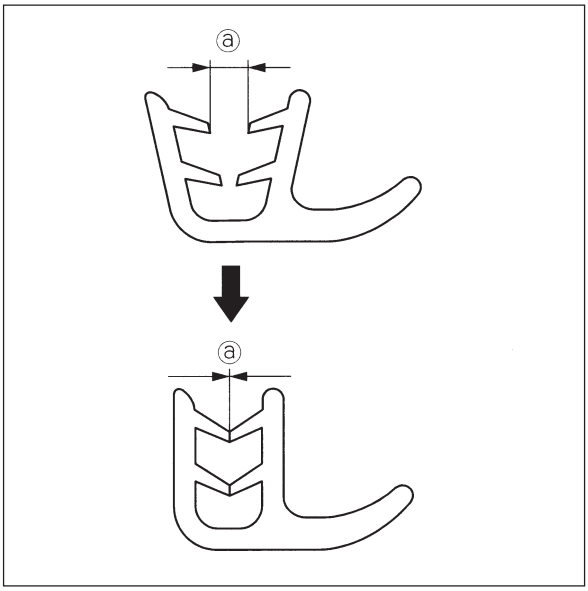
モール，2①を再度組付けるための位置決めをする。

1. プレート，ラバー5の左右どちらかの端部ⓐに合わせて、モール，2にマークを付けます。

モール，2 の取外し

1. 以下の部品を取外します。
- モール，2





組付け部品の洗浄

1. 以下の部品を洗浄します。
- ウインドスクリーン①
- パネル，1②
- モール，2③

要　点

- 柔らかい布を使用して、ウインドスクリーン、パネル，1がモール，2と組付く部分ⓐとモール，2の溝ⓑに付着している汚れを拭き取る。
- 汚れが落ちない場合は、中性洗剤を使用し、洗浄後は水分を拭き取る。

注　意

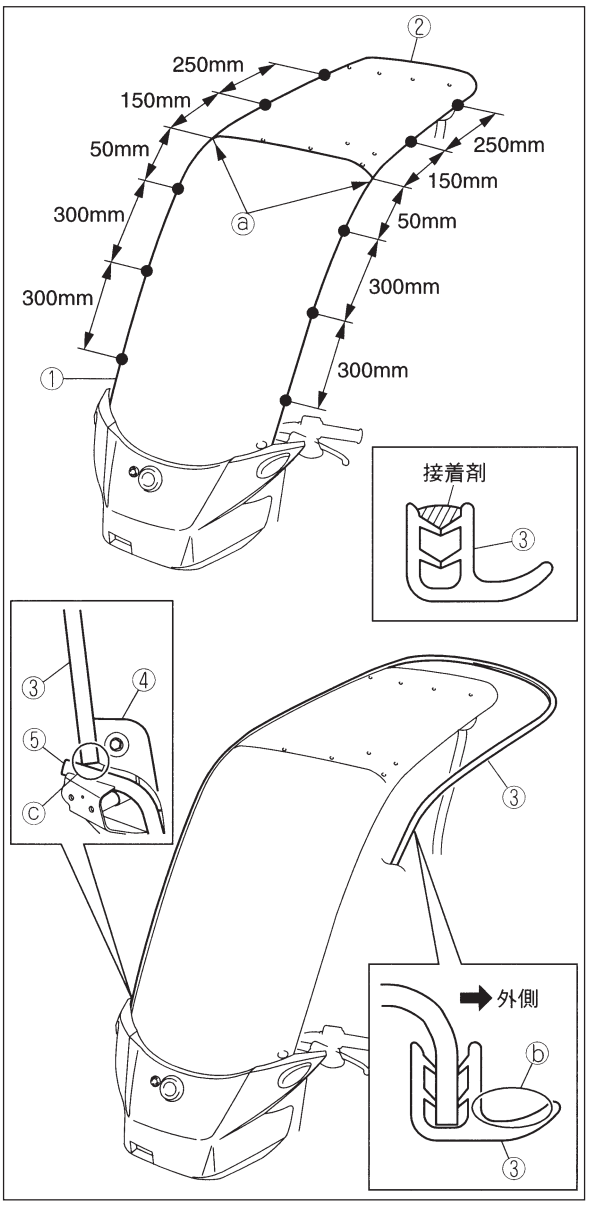
- 油分、汚れが残っているとモール，2の接着が不充分になる恐れがありますので、確実に拭き取ること。
- ウインドスクリーン、パネル，1にガソリンやブレーキ液、アルカリ性および強酸性のクリーナー、その他の溶剤などがかかると、ヒビ割れ等の原因になるので注意すること。

モール，２のすき間調整

1. 取外したモール，２の間口のすき間を調整します。

要　点

モール，2のリップ部ⓐのすき間がないようにする。



モール，2 の組付け

1.ウインドスクリーン①とパネル，1 ②に接着剤塗布位置のマークを、左図のように 10 箇所付けます。

要　点

パネル，1側の端部ⓐを、マークを付ける基準位置とする。

2.モール，2③のマークを付けた位置とプレート、ラバー5④の端部を合わせます。

3.モール，2は合わせた位置を始点として、端から順に組付けます。

要　点

モール，2は溝ⓑを外側に向けて組付ける。

4.接着剤塗布位置では、マーク位置を中心に 60mm の長さで同梱の接着剤を左図のようにモール側へ塗布します。（約 1.5g/ 箇所）

要　点

- 接着剤をモール，2の全周に塗布すると、組付け時に滑り落ちてしまう恐れがあるため、決められた位置のみ塗布する。
- 接着剤塗布後は、すぐにモール，2を組付ける。5分放置せずに作業することができます。
- 組付け後、はみ出た接着剤は拭き取る。

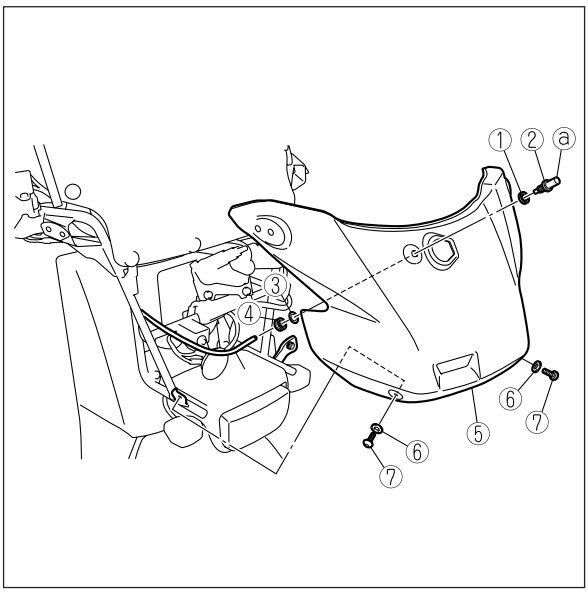
5.モール，2の終端ⓒはステー，1⑤に接するように組付けます。

要　点

モール，2の長さが余った場合は、ニッパ等でカットする。

6.ウインドスクリーンとパネル，1 の重ね合わせ部とプレート，ラバー5④のモール，2を再度、上下から押さえ付けます。

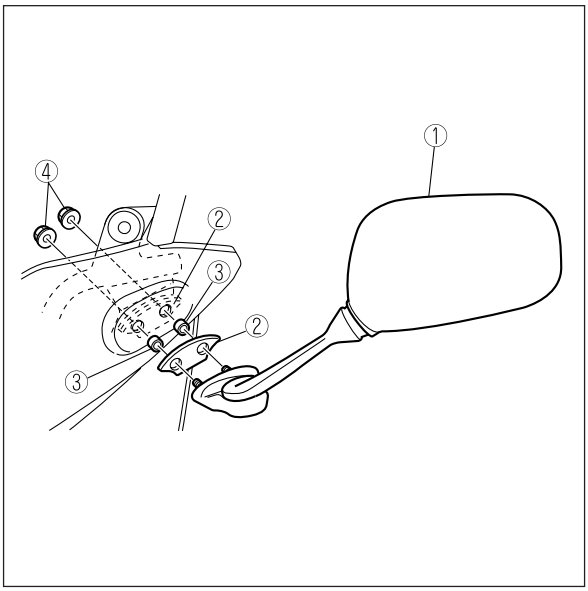
7.モール，2の全周を押込み、確実に組付いていることを確認します。



カウリングアセンブリの組付け

1. 以下の部品を組付けます。
- ラバーワッシャー①
- ウォッシャーノズル②
- ワッシャー，プレート③
- ノズルナット④
- カウリングアセンブリ⑤
- ワッシャー，プレート⑥
- ボルト，ヘキサゴンソケットヘッド（M6×16）⑦

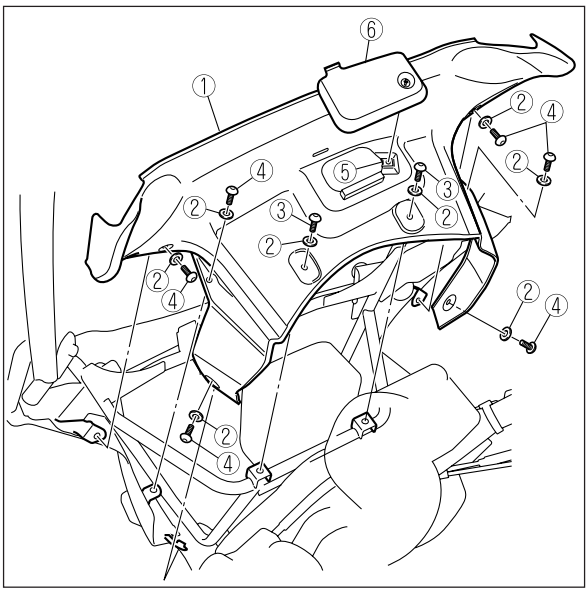
要　点
- ウォッシャーノズルは噴射孔ⓐを上側に向けて組付ける。
- バックミラーアセンブリを組付けるまではボルト，ヘキサゴンソケットヘッドは仮締めとする。



バックミラーアセンブリの組付け

1. 以下の部品を組付けます。
- バックミラーアセンブリ①
- プレート②
- カラー③
- ナット，フランジ④ 7Nm（0.7kg・m）

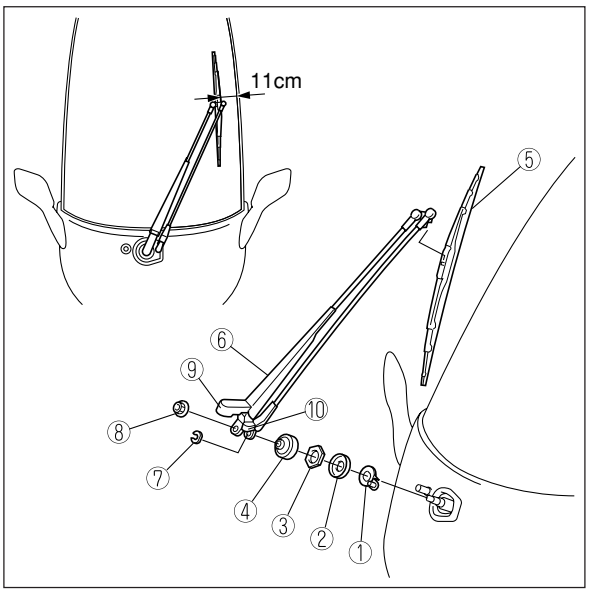
要　点
- プレートはバックミラーアセンブリの形状に合わせて組付ける。
- 「**カウリングアセンブリの組付け**」の項目で仮締めしたボルト，ヘキサゴンソケットヘッドを7Nm（0.7kg・m）で締付ける。



コンソールパネルアセンブリの組付け

1. 以下の部品を組付けます。
- コンソールパネルアセンブリ①
- ワッシャー，プレート②
- ボルト，ボタンヘッド（M6×14）③ 7Nm（0.7kg・m）
- ボルト，ボタンヘッド（M6×14）④ 4Nm（0.4kg・m）
- ナット，スプリング⑤
- リッドアセンブリ⑥ 1Nm（0.1kg・m）

組立方法



ワイパーの組付け

1. 以下の部品を組付けます。

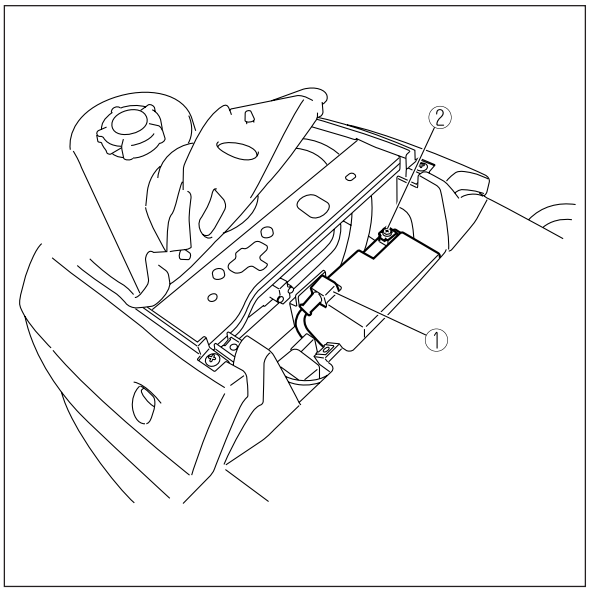
- ステー①
- ワッシャー②
- ナット③ 9Nm（0.9kg・m）
- カバー④
- ブレード，ワイパー⑤（長さ：40cm）
- アーム，ワイパー⑥
- クリップ⑦
- ナット，フランジ⑧ 14Nm（1.4kg・m）
- アームカバー大⑨
- アームカバー小⑩

要　点

ブレード，ワイパーが図の位置になるように組付ける。

注　意

ワイパーモーター破損の原因となるのでナットの締付けは、特に注意して規定のトルクで締付けること。



バッテリリードの組付け

1. 以下の部品を組付けます。

- バッテリ⊕リード①
- バッテリ⊖リード②
- カバー③
- スクリュ，タッピング（φ5×16）④ 2Nm（0.2kg・m）

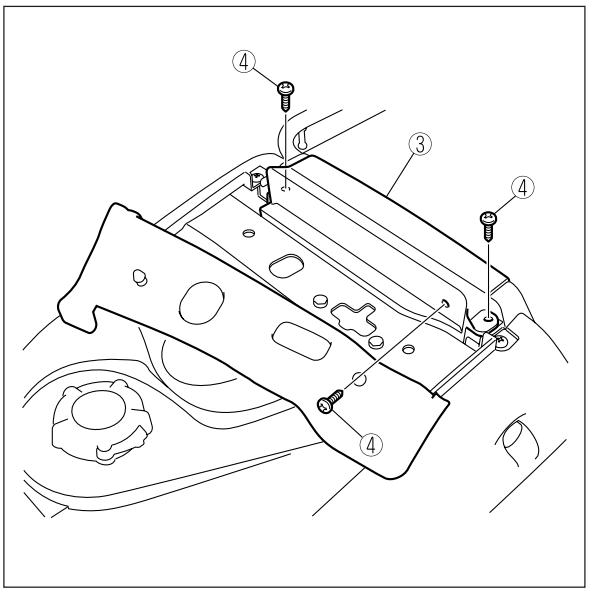
要　点

必ずバッテリ⊕リードから組付ける。

注　意

バッテリー組付け後、エンジンを始動する前にISC（アイドルスピードコントロール）開度の初期化を行う。

バッテリリードを外す、またはバッテリ電圧が規定値以下になるとECU(エンジンコントロールユニット）におけるISC開度情報がリセットされます。
その後、バッテリを組付けてISC開度の初期化を行わずエンジンを始動すると始動後約一秒間エンジンのアイドル回転数が通常より高くなる場合があります。



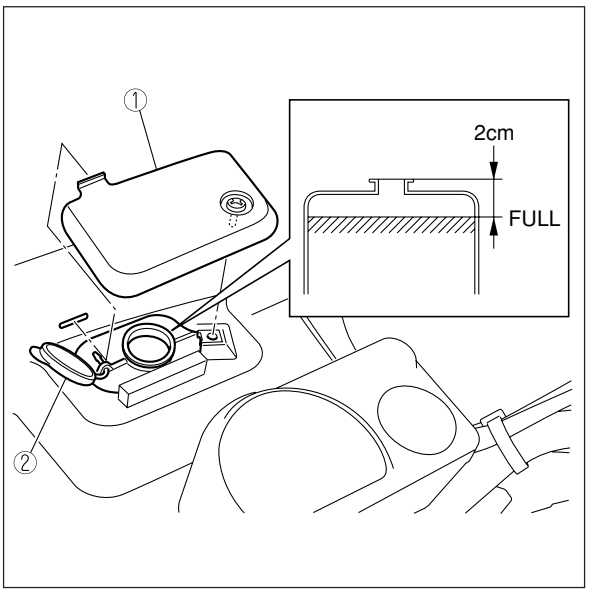
ISC初期化

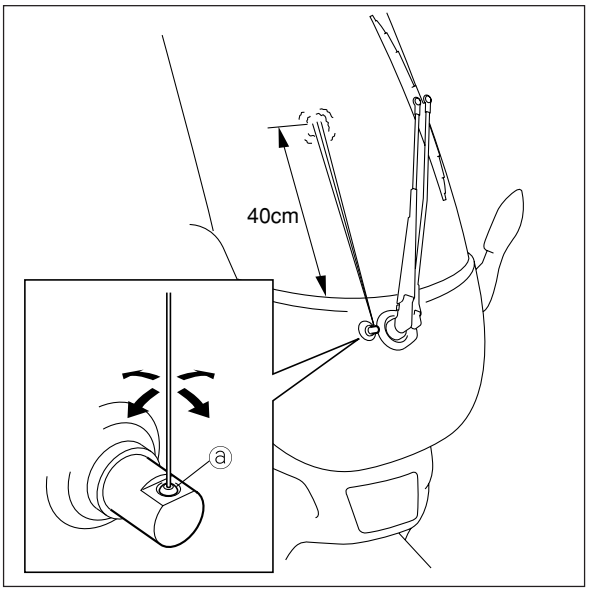
1. バッテリを組付けます。
2. エンジン始動前にメインスイッチのON/OFFを3回繰り返してください。

要　点

初期化のためメインスイッチを操作する場合はON、OFFそれぞれの操作時間を3秒以上とする。

各部の調整方法





ウォッシャー液の補給

リッドアセンブリ①を取外し、キャップ②を外して補給します。

ウォッシャー液補給後はキャップを確実に取付けます。

タンク容量：1.5 ℓ

要　点

ウォッシャー液がタンクの口元からあふれないように注意して補給する。あふれたときはすぐに拭き取る。

注　意

- ウォッシャー液は中性のものを使用すること。酸性およびアルカリ性の洗剤やはっ水剤などのケミカル用品はスクリーンに悪影響を与える恐れがあるので、使用しないこと。
- ウインドウォッシャー液の濃度の使い分けおよび注意事項はウォッシャー液の記載内容によること。

ウォッシャーノズルの向き調整

ウォッシャー液がウインドスクリーンに正しく飛ばない時は、ウォッシャーノズルの噴出孔ⓐを細い針で正しい方向へ調整します。

要　点

車両停止時にスタンドを解除し、1名乗車状態でウォッシャーを作動させた時、ウインドスクリーン端面から40cmの位置にウォッシャー液が飛ぶように調整する。ウインドスクリーンを越えて後方への飛散がないことを確認する。

各部の点検方法

ワイパー操作の補足説明（条件）は次の内容となります。

「YAMAHA GEARルーフキット取扱説明書」の**各部の操作方法「1.スイッチ（ワイパー）」**（4ページ）に“スイッチ（ワイパー）①を『ON』の位置にするとワイパーが作動します。アイドリング時は間欠作動、走行時は連続作動します。”と記載されていますが、作動の条件は次の内容となります。

- 車両のメインスイッチを「ON」にしても、エンジンを始動させないとワイパーは作動しません。ただし、この時にスイッチ（ウォッシャー）を『ON』の位置にすると、ウォッシャー液が噴出し、ワイパーが作動します。

また、エンジンを停止、運転している場合の作動の条件は次の内容となります。

1.エンジンが停止している場合

■車両のメインスイッチを「ON」の状態としたとき

- ウォッシャースイッチを『ON』の位置にすると、ウォッシャー液が噴出しワイパーが作動します。
  →『ON』の位置を保持している間、作動し続けます。
- ワイパースイッチを『ON』の位置にしてもワイパーは作動しません。

2.エンジンが運転している場合

※ウォッシャースイッチの動作は、「1.」と同様になります。

- アイドリング運転時
  ・ワイパースイッチを『ON』の位置にすると、ワイパーは「間欠作動」します。
- 走行運転時
  ・ワイパースイッチを『ON』の位置にすると、ワイパーは「連続作動」します。

ワイパーが作動しない場合は次の順序で点検します。

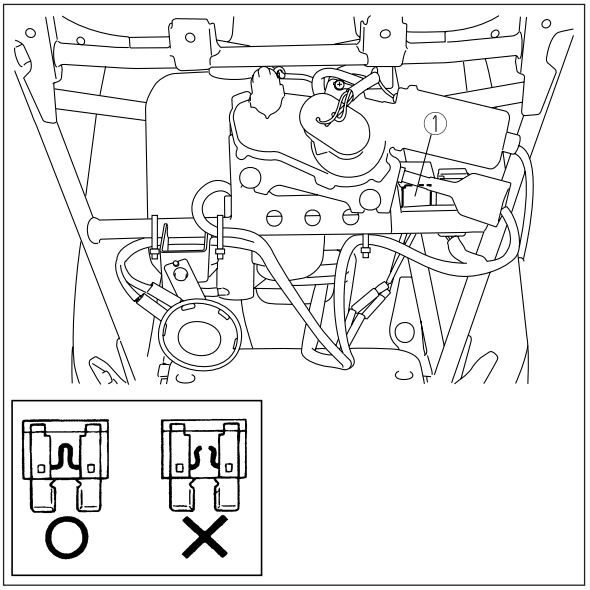
1.フューズ点検
2.ワイヤハーネスの断線およびカプラの接触不良の点検
3.スイッチ（ワイパー）の点検
4.ワイパーモーターの点検

ワイパーが正しい位置に停止しない場合は次の順序で点検します。

1.スイッチ（ワイパー）の点検
2.ワイパーモーターの点検

ウォッシャー液が噴出しない場合は次の手順で点検します。

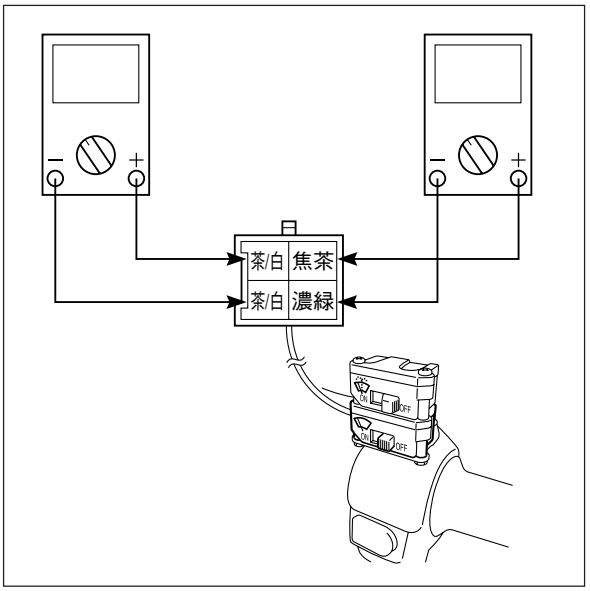
1.ウォッシャー液の容量の点検
2.ウォッシャーノズルの詰まり、ウォッシャーホースの詰まり・折れの点検
3.フューズ点検
4.ワイヤハーネスの断線およびカプラの接触不良の点検
5.スイッチ（ウォッシャー）の点検
6.ウォッシャーモーターの点検



フューズの点検

フューズはフューズホルダ①にセットされています。
フューズが切れている場合は、原因を調べてから新しいフューズに交換します。

規定フューズ：5A



スイッチ（ワイパー）の点検

1. 以下の点検をします。

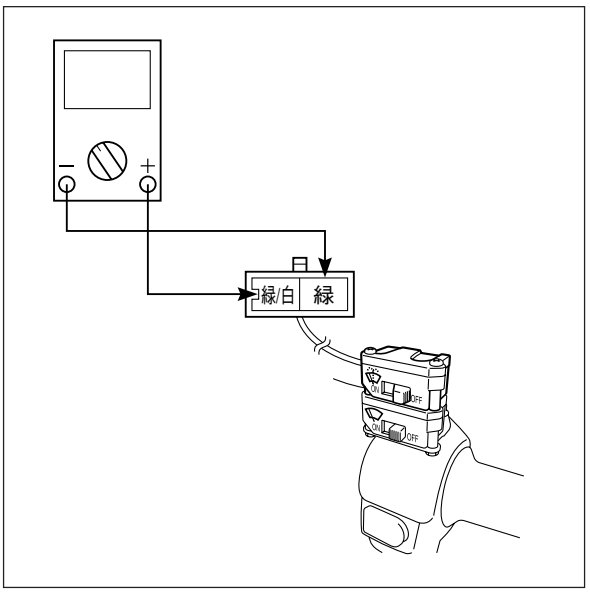
● スイッチ（ワイパー）導通

テスタ⊕リード→焦茶端子
テスタ⊖リード→濃緑端子

スイッチが『ON』の時に導通があり、『OFF』の時に導通がなければ良好

テスタ⊕リード→茶 / 白端子
テスタ⊖リード→茶 / 白端子

スイッチが『ON』の時に導通がなく、『OFF』の時に導通があれば良好
上記点検で異常がある場合スイッチ（ワイパー）を交換する。



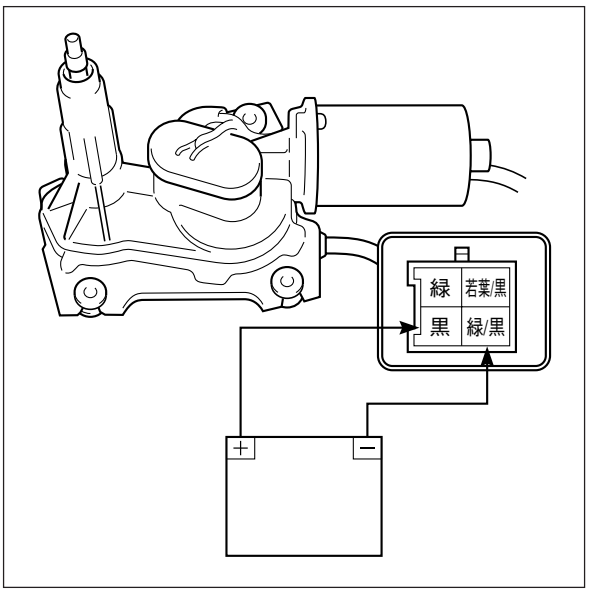
スイッチ（ウォッシャー）の点検

1. 以下の点検をします。

● スイッチ（ウォッシャー）導通

テスタ⊕リード→緑 / 白端子
テスタ⊖リード→緑端子

スイッチが『ON』の時に導通があり、『OFF』の時に導通がなければ良好
上記点検で異常がある場合スイッチ(ウォッシャー)を交換する。



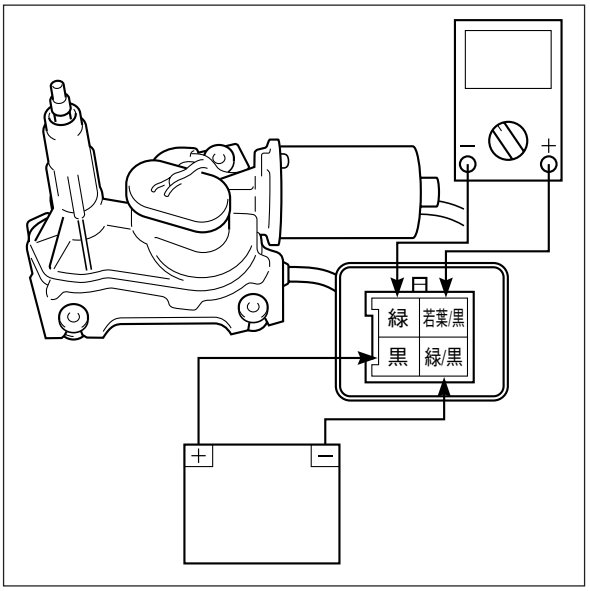
ワイパーモーターの点検

1. 以下の点検をします。

●ワイパーモーター作動

バッテリ⊕→黒端子
バッテリ⊖→緑/黒端子

バッテリを接続した時にワイパーモーターが作動すれば良好
上記点検で異常がある場合ワイパーモーターを交換する。

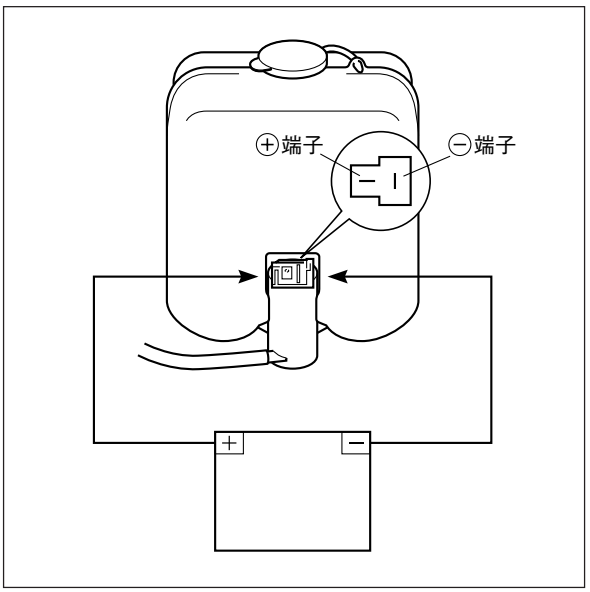


2. 以下の点検をします。

●ワイパーモーター導通

バッテリ⊕→黒端子
バッテリ⊖→緑 / 黒端子
テスタ⊕リード→若葉 / 黒端子
テスタ⊖リード→緑端子

バッテリを接続した時に若葉 / 黒―緑端子間で導通あり、なしを繰り返せば良好
上記点検で異常がある場合ワイパーモーターを交換する。



ウォッシャーポンプの点検

1. 以下の点検をします。

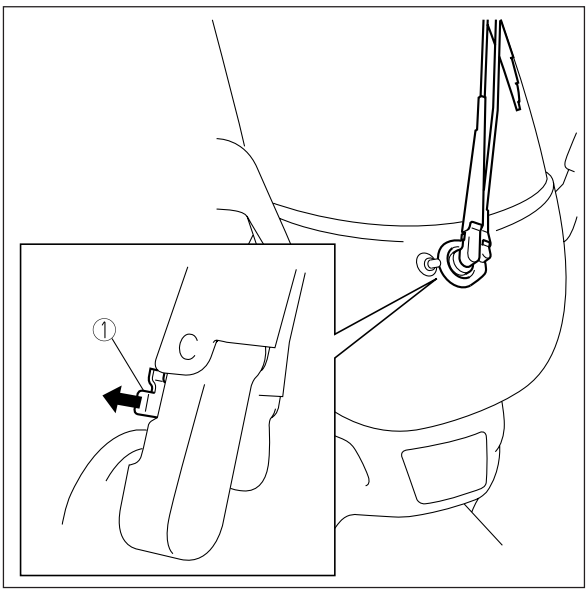
●ウォッシャーポンプ作動

バッテリ⊕→⊕端子
バッテリ⊖→⊖端子

バッテリを接続した時にウォッシャーポンプが作動すれば良好
上記点検で異常がある場合ウォッシャーポンプを交換する。

注 意

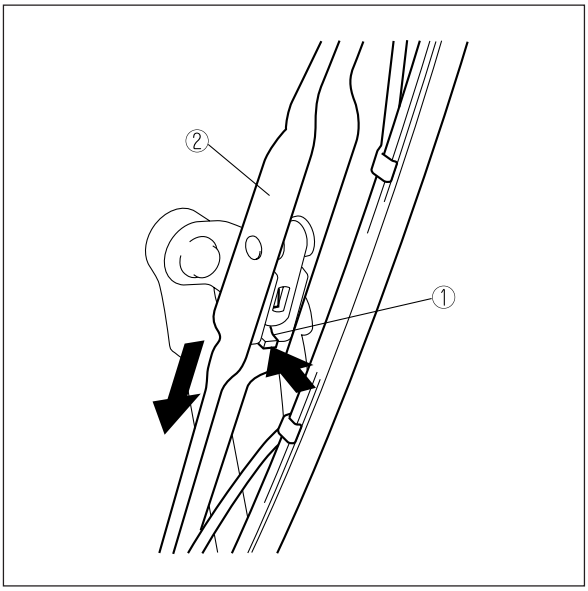
ウォッシャー液が空の状態でバッテリを接続しないこと。ウォッシャーポンプの故障の原因となる。



ワイパーゴムの点検

ワイパーゴムにヒビ割れなど劣化が見られる場合は新しいブレード，ワイパーに交換します。

1. ワイパーを手前に持ち上げながらストッパー①を引いてワイパーをウインドスクリーンより浮かせます。

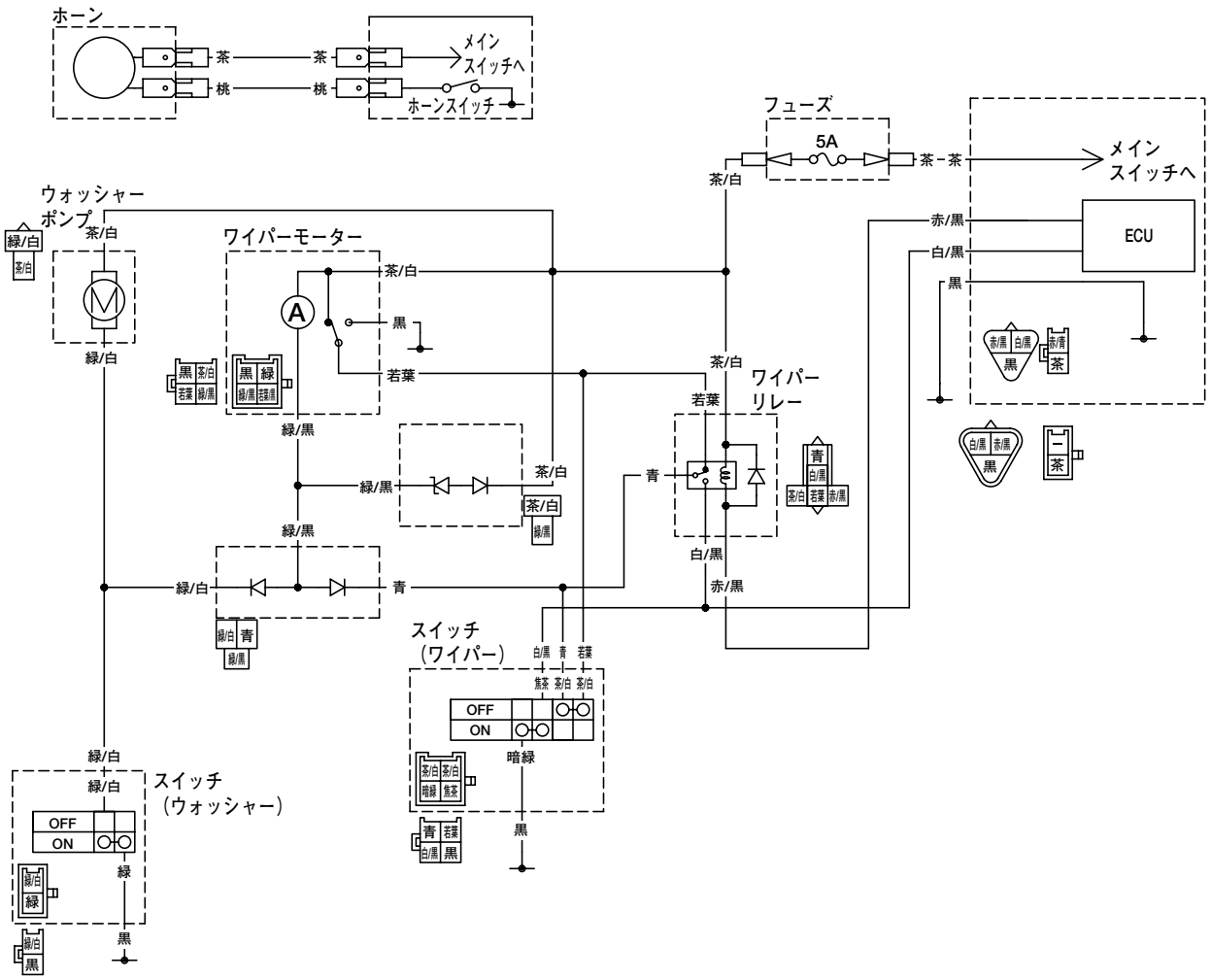


2. ストッパー①を押しながらブレード，ワイパー②を引き抜き新しいブレード，ワイパーに交換します。

注　意

ウインドスクリーンに傷が付かないように注意すること。

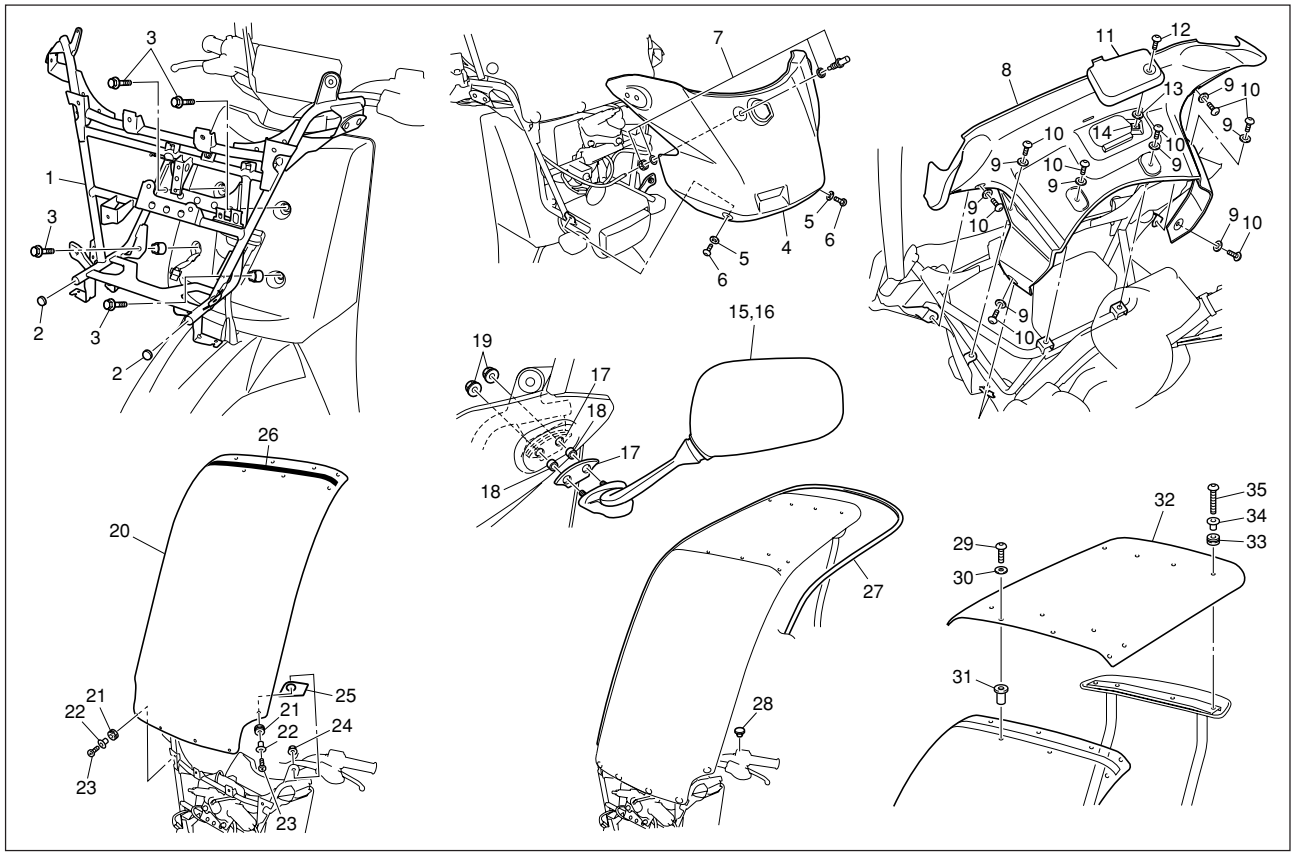
電装配線図


ホーン
茶
桃
茶
桃
メイン
スイッチへ
ホーンスイッチ
フューズ
5A
茶/白
茶
茶
メイン
スイッチへ
ウォッシャー
ポンプ
緑/白
茶/白
緑/白
ワイパーモーター
茶/白
黒
若葉
緑/黒
緑/黒
茶/白
茶/白
緑/黒
緑/白
青
緑/白
青
緑/黒
茶/白
若葉
ワイパー
リレー
青
白/黒
赤/黒
赤/黒
白/黒
黒
ECU
スイッチ
（ワイパー）
白/黒
青
若葉
OFF
ON
暗緑
黒
緑/白
緑/白
スイッチ
（ウォッシャー）
OFF
ON
緑
黒

パーツカタログ

パーツカタログのご利用について

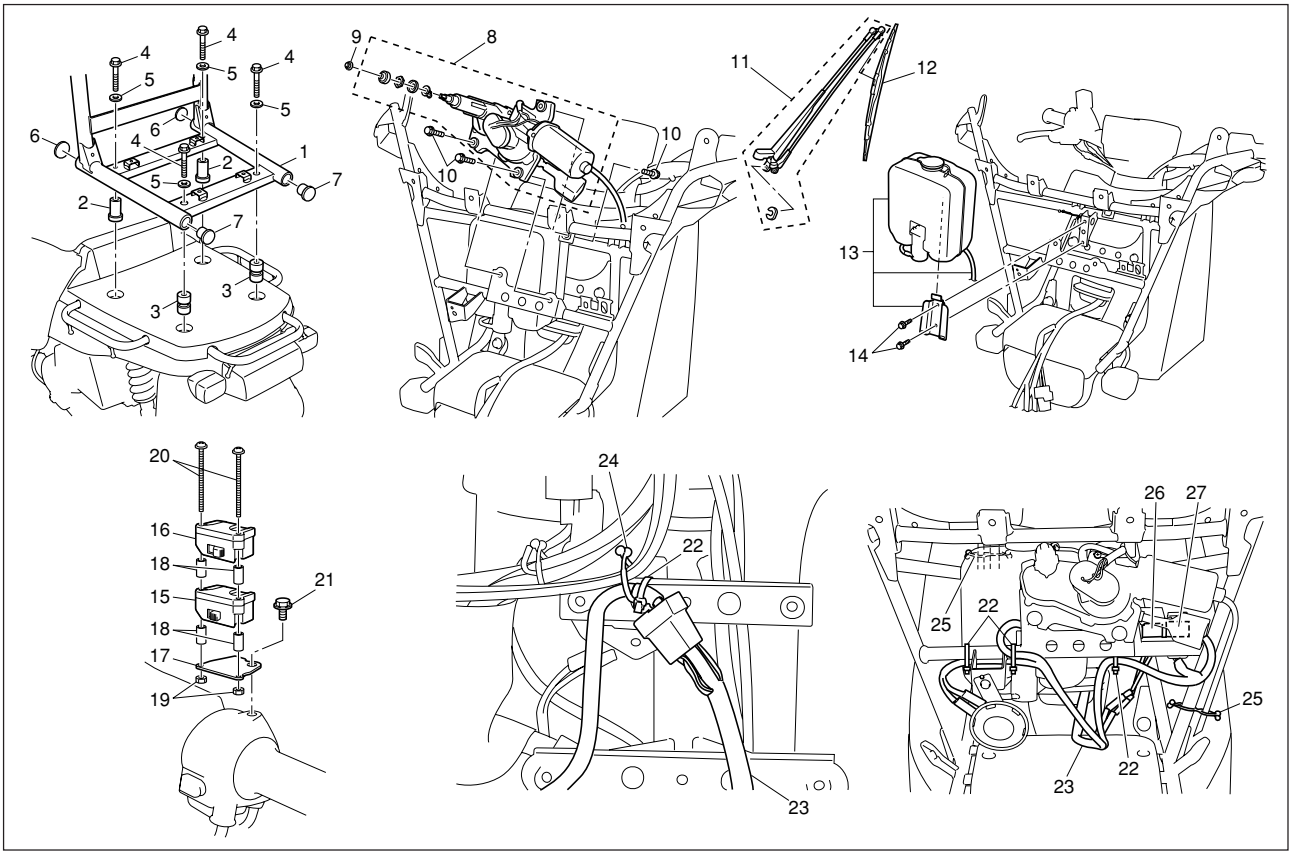
1. 部品をご注文の際は、本パーツカタログをご参照の上、部品番号、部品名、個数を正確にご指示ください。
2. 部品のご注文先は部品により(株)ワイズギアとヤマハ発動機(株)部品営業に分かれます。見出番号の欄に“ * ”印のついた部品は(株)ワイズギアへ、ついていない部品はヤマハ発動機(株)部品営業へご注文ください。



見出番号	部品番号	部品名	個数
1*	Q5K-YEC-10B-002	ステー, 1	1
2*	Q5K-YEC-10B-003	キャップ	2
3	95817-08045	ボルト, フランジ	4
4*	Q5K-YEC-10B-004	カウリングアセンブリ（STD）	1
	Q5K-YEC-10B-021	カウリングアセンブリ（ピザハット）	1
5	90201-06078	ワッシャー, プレート	2
6	90110-06200	ボルト, ヘキサゴンソケットヘッド	2
7*	Q5K-YEC-092-053	ノズル	1
8*	Q5K-YEC-10B-005	コンソールパネルアセンブリ	1
9	90202-06001	ワッシャー, プレート	8
10	92017-06014	ボルト, ボタンヘッド	8
11*	Q5K-YEC-10B-006	リッドアセンブリ	1
12	90167-05055	スクリュ, タッピング	1
13	90202-04182	ワッシャー, プレート	1
14	90183-05042	ナット, スプリング	1
15	Q5K-YEC-10B-022	バックミラーアセンブリ（レフト）	1
16	Q5K-YEC-10B-023	バックミラーアセンブリ（ライト）	1
17*	Q5K-YEC-10B-012	プレート	4

見出番号	部品番号	部品名	個数
18	90387-064T3	カラー	4
19	95707-06500	ナット, フランジ	4
20*	Q5K-YEC-10B-007	ウインドスクリーン	1
21	90480-15363	グロメット	6
22*	Q5K-YEC-10B-008	カラー	6
23	92017-06025	ボルト, ボタンヘッド	6
24	90176-06008	ナット, キャップ	2
25*	Q5K-YEC-10B-009	プレート, ラバー5	2
26*	Q5K-YEC-092-020	ダンパー	1
27*	Q5K-YEC-10B-011	モール, 2	1
28	90338-07124	プラグ, ブラインド	1
29*	Q5K-YEC-092-019	スクリュ	9
30	90202-06113	ワッシャー, プレート	9
31	90179-06520	ナット	9
32*	Q5K-YEC-10B-010	パネル, 1	1
33	90480-15363	グロメット	4
34*	Q5K-YEC-10B-008	カラー	4
35	92017-06025	ボルト, ボタンヘッド	4

見出番号の欄に“ * ”印がついた部品は(株)ワイズギアへご注文ください。



見出番号	部品番号	部品名	個数
1*	Q5K-YEC-10B-016	キャリアフレームアセンブリ	1
2*	Q5K-YEC-10B-017	カラー	2
3*	Q5K-YEC-10B-018	カラー, 2	2
4	95817-08055	ボルト, フランジ	4
5	90201-08753	ワッシャー, プレート	4
6	90338-27007	プラグ	2
7*	Q5K-YEC-10B-019	プラグ	2
8*	Q5K-YEC-092-049	ワイパーモーターアセンブリ	1
9	95707-08500	ナット, フランジ	1
10	95807-06016	ボルト, フランジ	3
11*	Q5K-YEC-092-050	アーム, ワイパー	1
12*	Q5K-YEC-092-051	ブレード, ワイパー	1
13*	Q5K-YEC-092-052	タンクアセンブリ	1
14	95807-06010	ボルト, フランジ	2
15*	Q5K-YEC-092-056	スイッチ（ワイパー）	1
16*	Q5K-YEC-10B-020	スイッチ（ウォッシャー）	1
17*	Q5K-YEC-10B-014	プレート	1
18*	Q5K-YEC-092-059	カラー	4
19	95307-03600	ナット	2

見出番号	部品番号	部品名	個数
20*	Q5K-YEC-092-060	スクリュ	2
21*	Q5K-YEC-092-061	ボルト	1
22	1UA-82591-00	バンド	4
23*	Q5K-YEC-10B-013	ワイヤ, リード1	1
24	90464-30040	クランプ	1
25	90464-17184	クランプ	2
26*	Q5K-YEC-10B-015	フューズホルダアセンブリ	1
27	5DM-81950-00	リレーアセンブリ	1

見出番号の欄に“ * ”印がついた部品は(株)ワイズギアへご注文ください。

仕様諸元

名称	YAMAHA GEAR ルーフキット （Q5K-YEC-10B-001）
全長	1850 mm
全巾	680 mm
ミラー装着時の全巾	● 走行状態 1020 mm ● 手前に収納した状態 750 mm
全高	1730 mm
最低地上高	104 mm
車両重量（装備重量）	123 kg

※ YAMAHA GEAR にルーフキットを装着した時の参考値です。

点検整備項目

点検項目	点検の内容	整備の内容
ウォッシャー液	ウォッシャー液の量が十分か。	ウォッシャー液の補給
ウォッシャーの作動	ウォッシャー液がウインドスクリーンに正しく飛ぶか。	本書「**各部の点検方法**」参照の上、異常がある場合は部品の交換
ワイパーゴム	ワイパーゴムにヒビ割れなどがないか。	ブレード，ワイパー交換
ワイパーの作動	ワイパーが作動するか。	本書「**各部の点検方法**」参照の上、異常がある場合は部品の交換
ウインドスクリーン・パネル，1	取付けにガタがないか。傷､汚れがないか。	増締め、傷がある場合交換
モール，2	取付けにゆるみがないか。	取付け部の汚れを落とし、開きを修正
キャリアフレームアセンブリ	取付けにガタがないか。	増締め

YAMAHA GEAR　ルーフキット
組立・点検説明書
2012 年 11 月発行
不許複製
編集発行
ヤマハモーターエンジニアリング株式会社

ヤマハモーターエンジニアリング株式会社
〒438-0026　静岡県磐田市西貝塚3622-8

再生紙を使用しています。